

相談体制の見直しと改善

「高校生支援のためのアクションプラン」
による取組の成果と課題

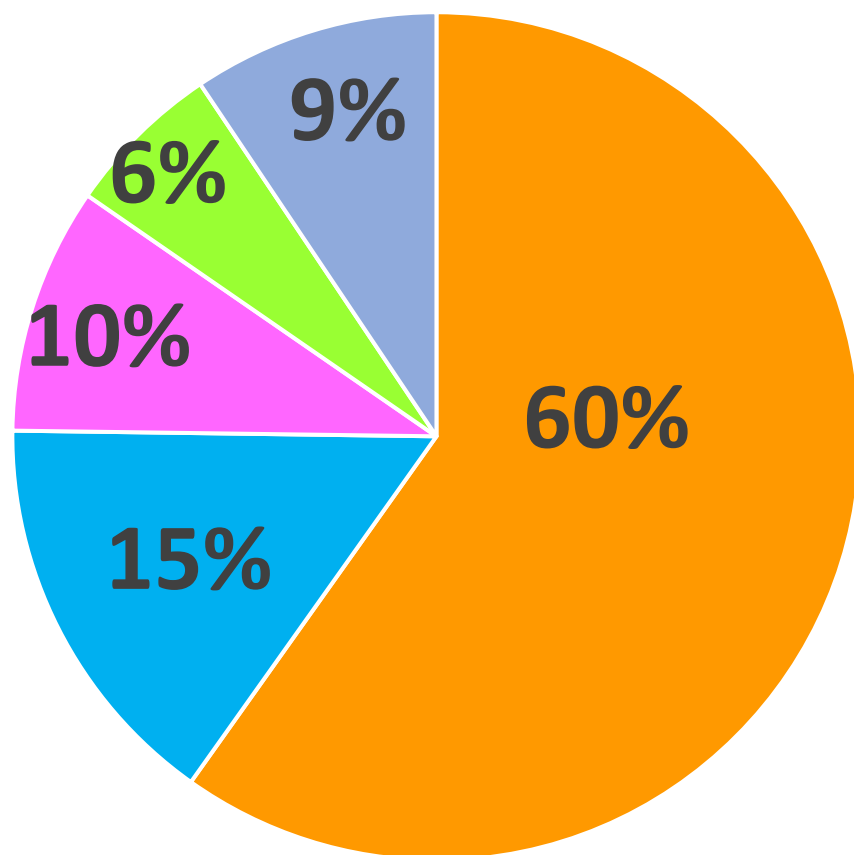


令和4年度 茨城県立友部東特別支援学校
相談支援部



「本校見学のきっかけ」の傾向

(幼稚園、小・中学生、高校生、大学生、一般)



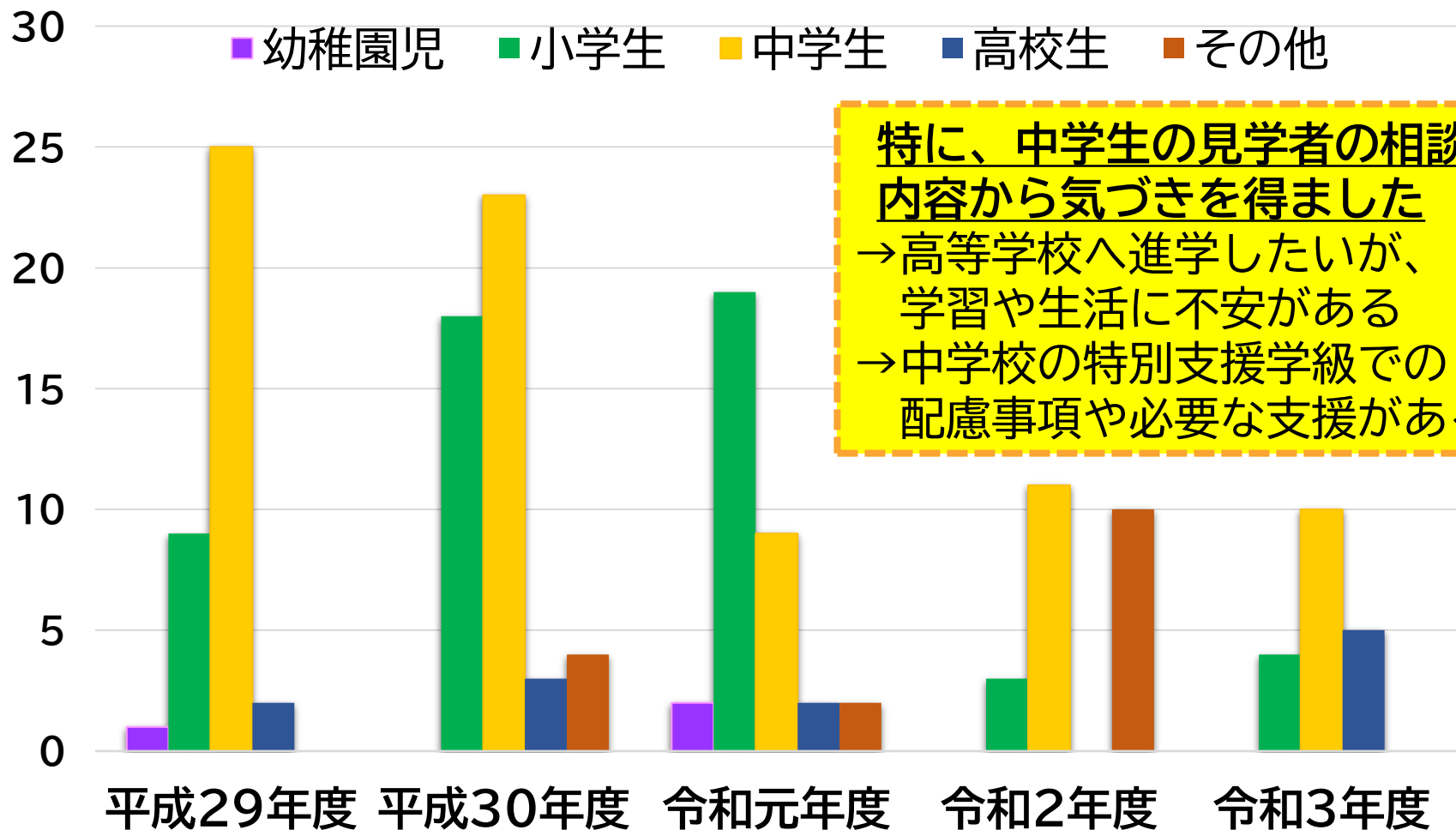
- 発達障害（二次障害含む）
- 知的障害と疾患を併せもつ
- 慢性疾患／急性疾患を発症
- 病弱教育への関心
- 専門家からの勧め

延べ212名(5年間)

※平成29年度から令和3年度に、本校へ見学に来た方への聞き取りに基づく。

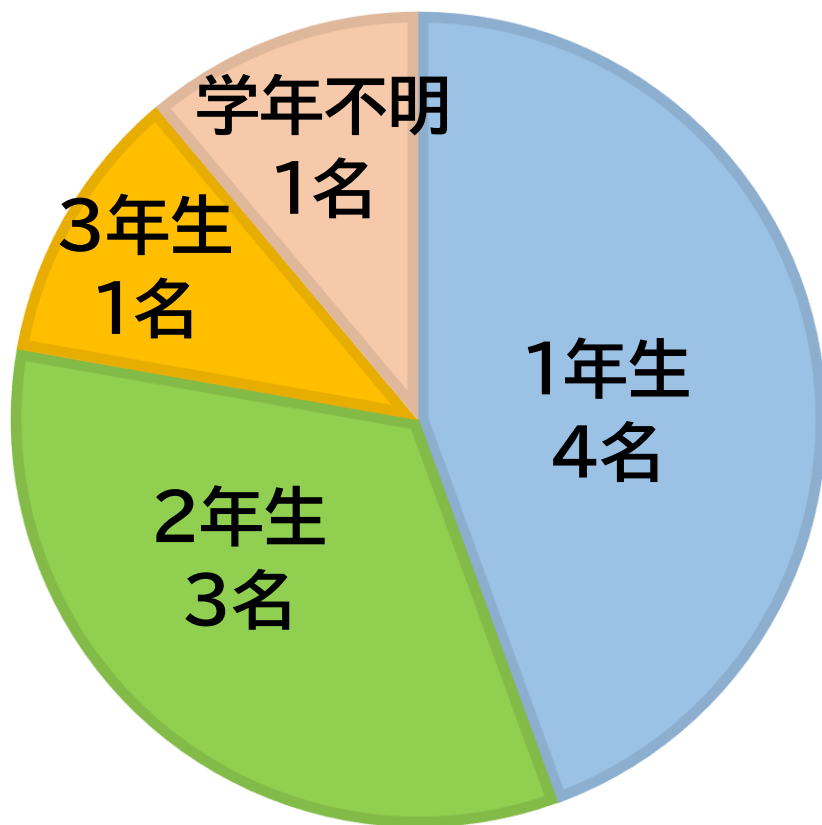
「本校見学者」の傾向

(幼稚園、小・中学生、高校生、大学生、一般)



令和3年度には 高等学校からの相談が急増しました

令和3年度における高校生や高等学校からの電話等の相談は、本校では、近年で最も多い9件のご相談がありました。



内容	件数
転入学	7
教育対象	1
訪問学級	1

※ 相談があった時期も、
12月から1月に集中
しました。



高等学校の相談から 相談支援体制の課題 が見えてきました



本校に関する様々な誤解がある

- ・通院することになったので友部東の対象になった
- ・高校中途退学後は、特別支援学校が適切だと思う

相談の手続きが分からない

- ・高等学校からの問い合わせが12月から1月に集中
- ・本人の意思が未確認のままの問い合わせが多数

様々な相談方法が知られていない

- ・高校を訪問して、授業参観や支援会議もできること
- ・電話や電子メール、オンラインでも相談できること

「高校生支援のためのアクションプラン」 を策定して相談支援体制を整備しました

- ①顔の見える関係づくりにより、速やかな連携と協働的支援が行えるようにする
- ②気軽に相談できる体制を整え、適切な指導や支援につなげる



具 体 的 な 取 組	1	笠間市コーディネーター連絡会議
	2	高等学校を対象とするアンケート
	3	本校の巡回相談の周知
	4	訪問教育における高校生支援の在り方の検討

顔が見える関係づくり・気軽に相談できる体制のために
**「笠間市コーディネーター連絡会議」
を立ち上げました**

友部高校



笠間高校



友部特別
支援学校



友部東特別
支援学校



笠間市こども育成支援センター

参加者の感想から

- ・ 不安や悩みを話せる場があって良かった。
- ・ 何をどのように取り組めばよいか、少し見通しをもつことができた。

相談支援体制の見直しとセンター的機能強化のために

高等学校へのアンケートを実施しました

対象予定：茨城県内の県立高等学校、中等教育学校後期課程、
私立高等学校、通信制高校（計134校）

実施方法：GoogleForms／7月28日～9月8日実施

回答数：93校（回収率 69.4%）

アンケートにおける質問の例

本校や病弱教育
を知っていますか

問い合わせや相談
の有無、相談内容

高等学校での支援
や配慮について

結果を分析する

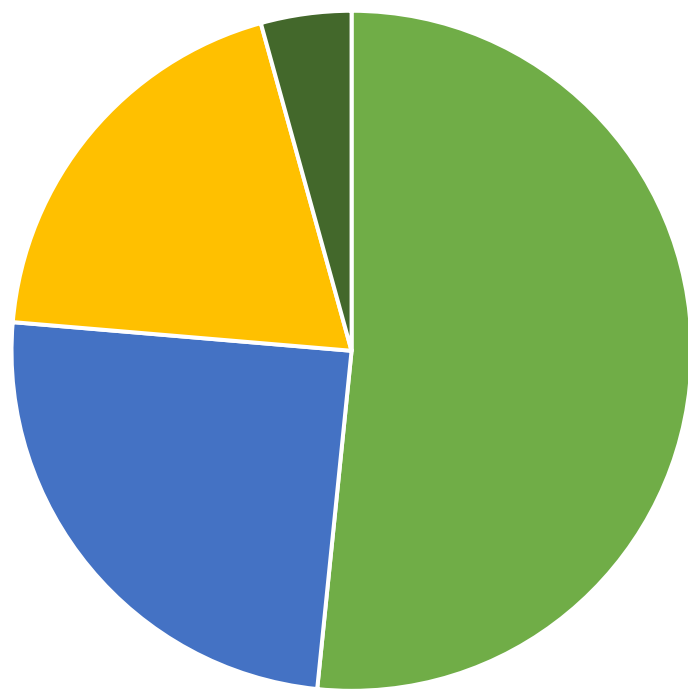
- ・ 本校の認知度
- ・ 病弱教育の情報ニーズ
- ・ 巡回相談の関心や意識
- ・ 教育的配慮等の状況

など

課題の把握・改善

アンケート結果

茨城県立友部東特別支援学校 をご存じですか？

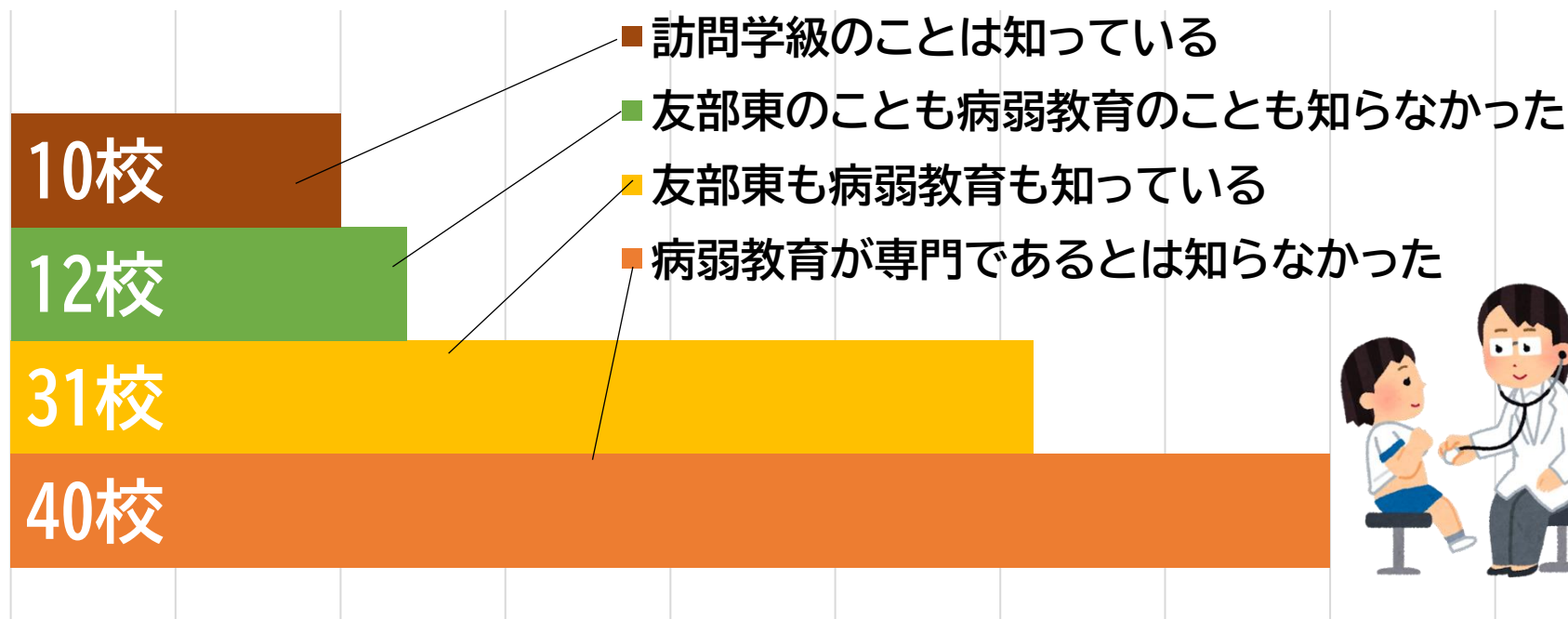


- 本校を知っている
- 名前は聞いたことがある
- このアンケートで初めて知った
- 訪問学級について聞いたことがある

「友部東を知っている」「名前は聞いたことがある」という回答が、約75%ございました。入院や通院による治療を受けている高校生が在学しており、どのように支援したらよいか悩んでいるというコメントもいただきました。

アンケート結果

友部東特別支援学校が 病弱教育が専門の特別支援学校 であることをご存じでしたか？

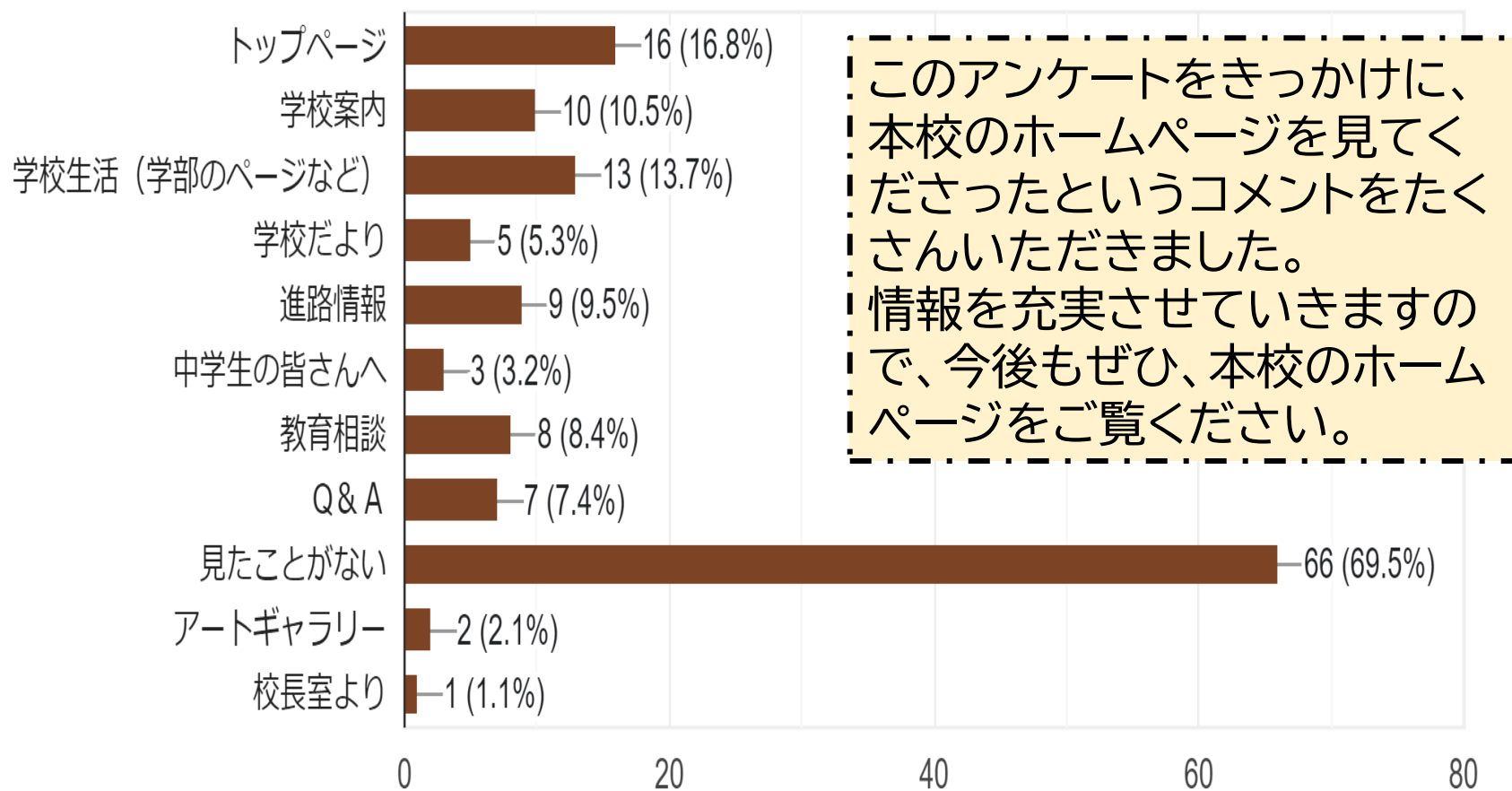


病弱教育について知りたいこと

「病弱教育」の範囲を知りたい／病弱の種類や程度／どのような病弱の生徒が在籍しているか／どんな学校生活なのか…などの質問をいただき、ホームページの「Q&A」で回答させていただきました。

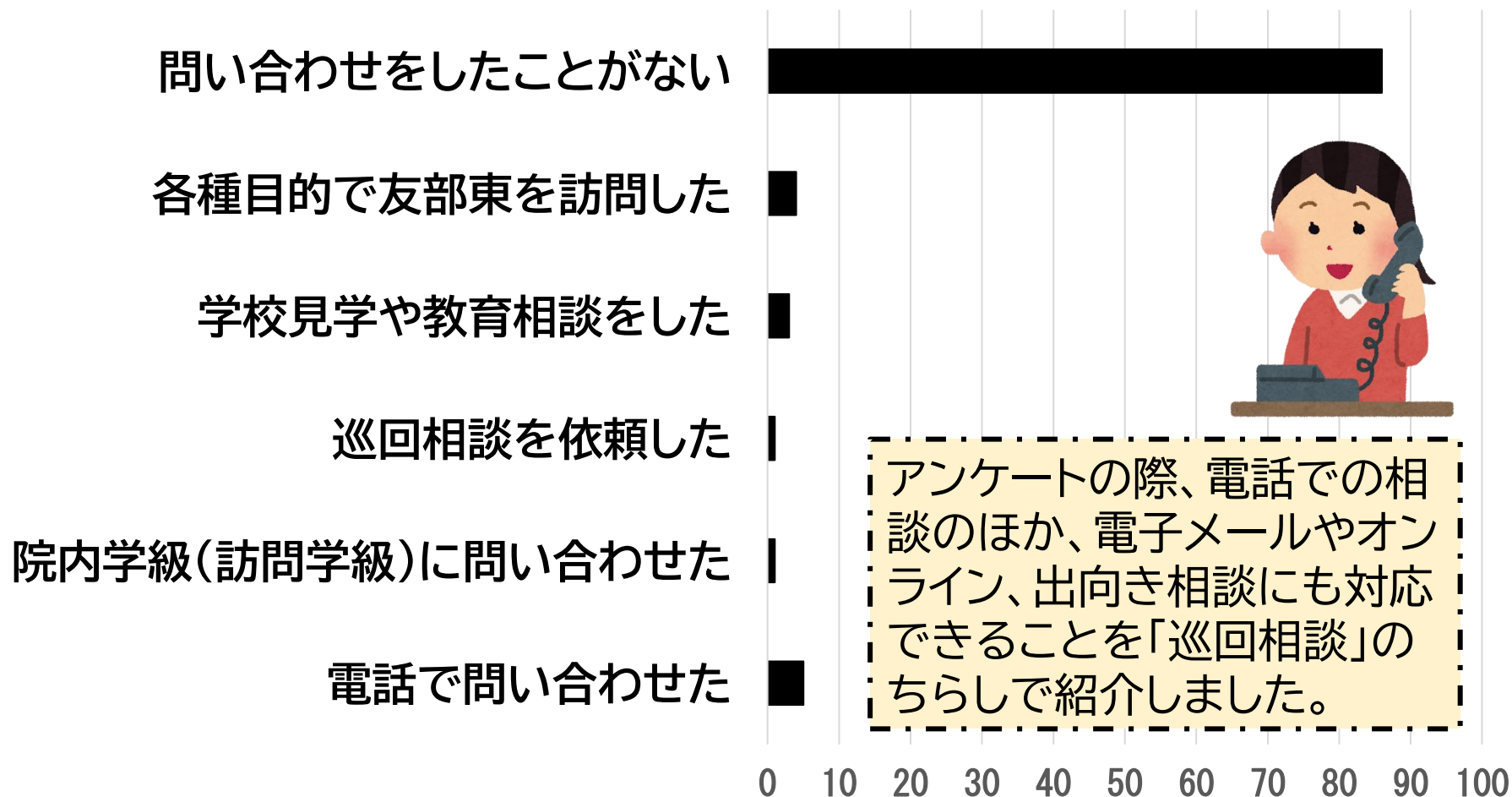
アンケート結果

友部東特別支援学校のホームページを見たことはありますか？



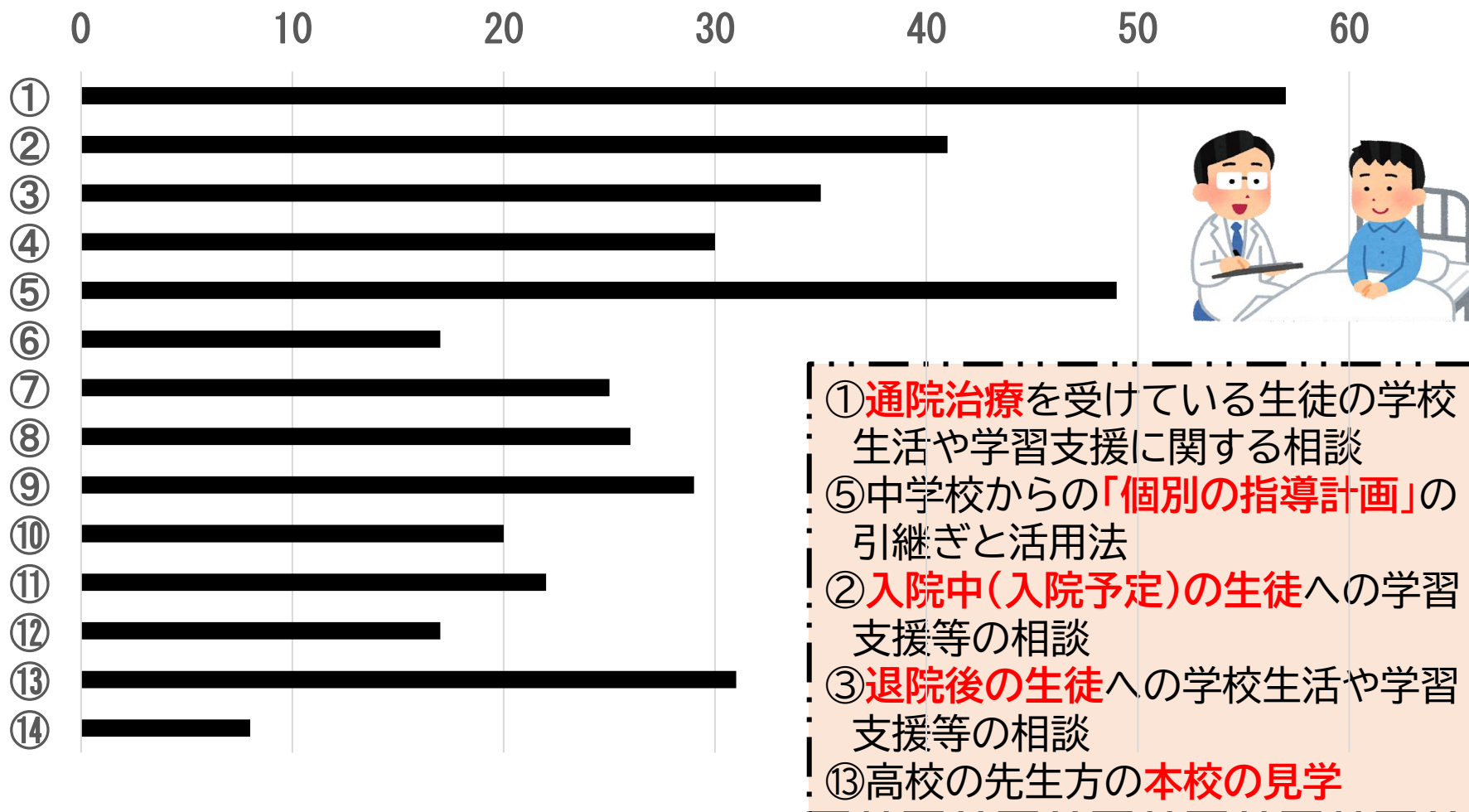
アンケート結果

友部東特別支援学校に 問い合わせたことはありますか？



アンケート結果（質問内容は次項に掲載）

友部東にどんな相談をしたいですか？



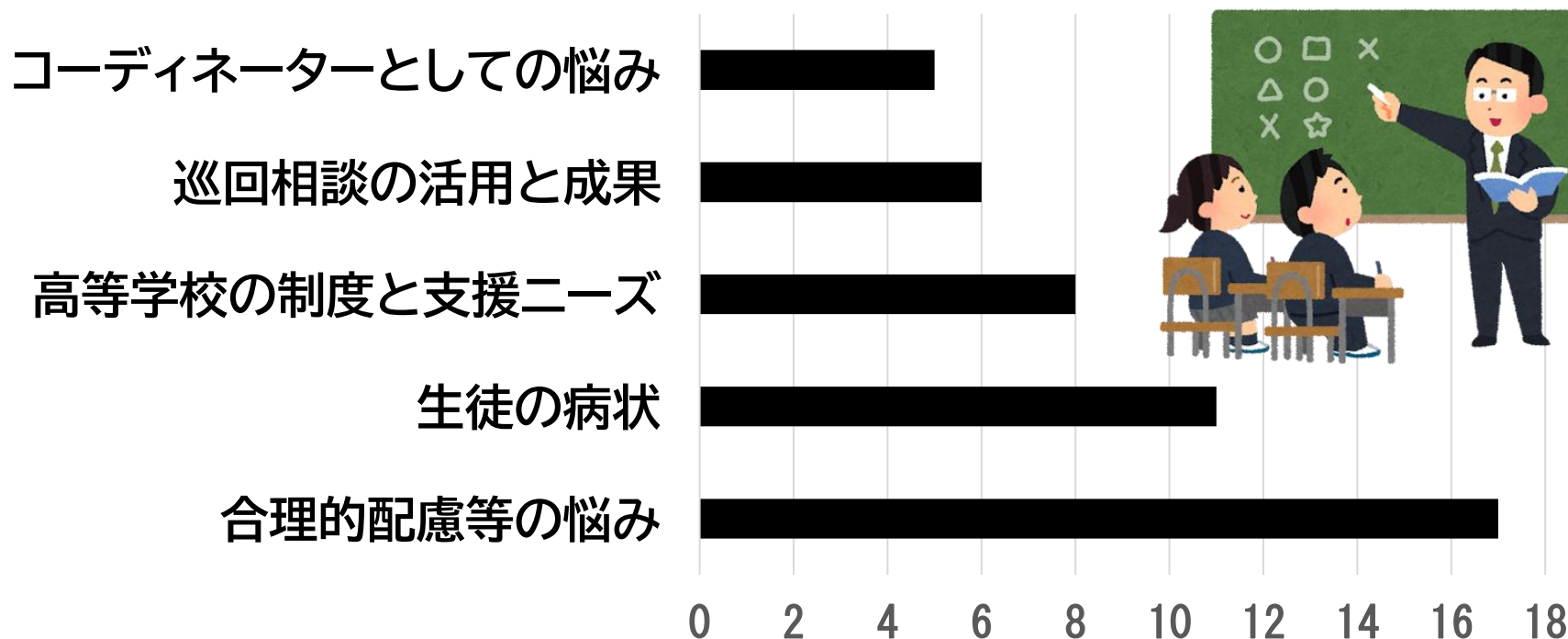
質問内容（この中から、最大5つ選択していただきました）

友部東にどんな相談をしたいですか？

- ①通院治療を受けている生徒の学校生活や学習支援に関する相談
- ②入院中(または入院予定)の生徒への学習支援等の相談
- ③退院後の生徒への学校生活や学習支援等の相談
- ④「学校生活管理指導表」や主治医の指示書等に沿った学校生活のための相談
- ⑤中学校からの「個別の指導計画」の引継ぎと活用法
- ⑥担任及び学年主任等先生方との懇談
- ⑦生徒に関する校内支援会議への参加
- ⑧病弱教育に関する校内研修会での講話や研修
- ⑨特別支援教育に関する校内研修会での講話や研修
- ⑩オンラインによる相談
- ⑪電話による相談
- ⑫電子メールによる相談
- ⑬高校の先生方の友部東特別支援学校の学校見学や授業参観
- ⑭生徒や保護者に、友部東特別支援学校の学校見学や授業参観を提案する

アンケート結果（自由記述により回答をいただきました）

生徒への支援の難しさを感じるのは どんな内容・場面ですか

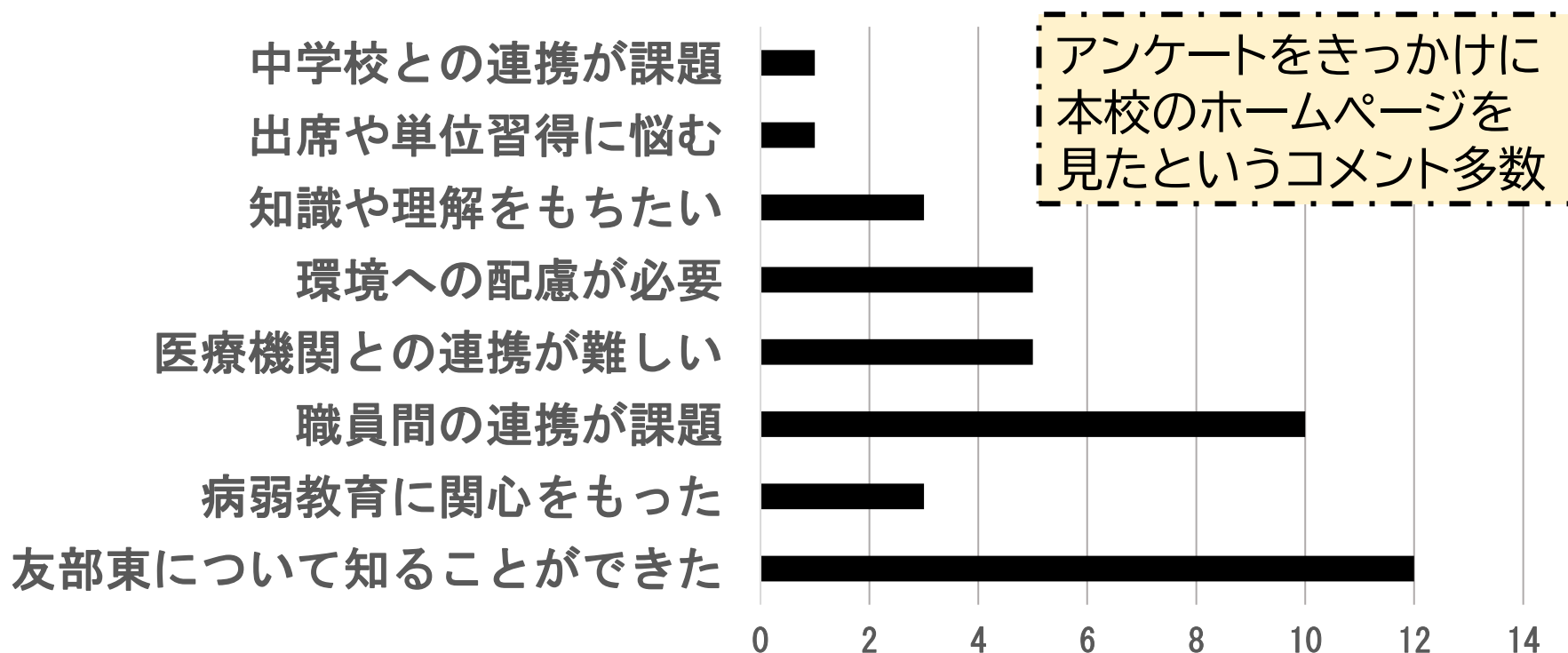


- ・ 支援をしたいが、生徒本人や保護者の申し出がないため進めない。
- ・ マンパワーが足りない。・ 特別支援教育の知識がない。自信がない。
- ・ . . . などの回答が寄せられました。

アンケート結果（自由記述）

病弱教育や特別支援教育について

の考えや思いを自由に記述してください



- ・「心の病気」「心療内科系」「精神疾患」の記述が散見されました。
- ・合理的配慮を他の生徒へ説明するのが難しい等の悩みも挙がりました。

アンケートの意見等を踏まえた本校の方向性として 相談支援体制の見直しと改善案 を以下のようにまとめました

○地域から「高校生支援」を着実に推進します

- ・笠間市コーディネーター連絡会議の継続します
⇒地域支援・地域連携を図ります
⇒センターとして地域に貢献していきます



○相談支援全般について

- ・「巡回相談」の周知(チラシの配布等)を工夫します
- ・「Q & A」を適宜見直しをして改訂します
- ・ホームページ情報を充実させていきます
- ・訪問学級を設置する各病院との連携を推進します

アンケートのご回答やご意見を踏まえ

長期入院する高校生の支援 についても考えていきます

○研究（インタビュー調査）に協力しました

- ・病気療養中の高校生に関する調査依頼を受けました。
- ・入院する高校生への支援は、本県だけでなく全県的な課題であると受け止めました。



○病院との連携や情報共有も行っています

- ・高等学校在学しながら入院治療を受けている高校生の保護者や高等学校から相談を受けることがあります。
- ・本校は、高等学校と病院との仲介（コーディネート）による支援を行っています。

アンケートへのご協力ありがとうございました

このたびは、校務ご多用の中、アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご回答は、全て拝読し、大切に保管しております。ご回答から病弱教育を担う本校が取り組むべきことについて多くの気づきや示唆をいただきました。自由記述にもたくさんのご意見やお考えをお聞かせいただき、本校の相談支援やセンター的機能の在り方について、再考する機会をいただきました。この場を借りて、深くお礼を申し上げます。いただいたご回答は、本校の情報発信や相談支援体制の改善に生かして参ります。

また、ご回答は、高等学校における特別支援教育の現在を知る大変貴重な資料であると考えました。当初のお約束通り、回答内容から高等学校が特定されないように統計化や図式化し、自由記述はご意見やご感想の主旨を集約して、紹介させていただきました。

本県の特別支援教育や高校生支援の充実のために、ご理解いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年3月
茨城県立友部東特別支援学校長

